

# 第2学年 国語科学習指導案

平成28年10月27日(木)  
場所 教室

- 1 単元名・教材名** 古典から生き方を学ぶ  
 「枕草子」(光村図書『国語2』P32)  
 「平家物語」(光村図書『国語2』P132)  
 「仁和寺にある法師」(光村図書『国語2』P142)

## 2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 本単元に至るまでの指導の系統

| 育成すべき国語の能力<br>【指導事項(読むこと)】   | 学習内容   | 単元・教材名<br>(実施時期)   | 学習活動と関連する<br>他領域等の指導   |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>古典独特のリズムやひびきを味わい、古人のものの見方や考え方に触れる。</li> <li>狂言の文章形態を知り、登場人物の心情を理解できる。</li> </ul> <p>【小5・6年読(1)ア・エ 伝国(1)ア(ア)(イ)】</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>古典独特の読み方</li> <li>古人の考えに触れる</li> <li>狂言の文章形態</li> <li>狂言の中の登場人物の心情理解</li> </ul>                 | <p>単元<br/>『今も私も』<br/>(小学5年9月)<br/>声に出して読み古典独特のリズムやひびきを楽しむ</p> <p>単元<br/>『伝えられてきたもの』<br/>(小学6年9月～10月)<br/>狂言の文章形態を学び、古典独特のリズムやひびきを楽しむ</p> | <p>【書くこと】</p> <p>単元<br/>『小学校6年生に大沼中学校を紹介しよう～学校案内リーフレットをつくろう～』<br/>(中学1年2月)</p> <p>説明と写真・図との関連、描写や記述の仕方の工夫、引用等の学習</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>古典独特のリズムやひびきを味わい、5人の貴公子の求婚の仕方の違いや描写の工夫や求婚の仕方の違いが理解できる。</li> </ul> <p>【中1年読(1)ウ・オ 伝国(1)ア(ア)(イ)】</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>古典独特の読み方</li> <li>歴史的仮名遣い、月の異名、十二支の学習</li> <li>5人の貴公子の描写の工夫</li> <li>5人の貴公子の求婚の仕方の違い</li> </ul> | <p>単元<br/>『性格の異なる5人の貴公子を紹介しよう』<br/>(中学1年9～10月)<br/>5人の貴公子の性格や行動をとらえ、描写の工夫や求婚の仕方の違いを理解する</p>  |  |

## (2) 生徒の実態と本単元の意図

古典離れが叫ばれて久しい。古文が読みにくい、暗記や音読ばかり、古人のものの見方や考え方が分からない、実生活で感じにくい等、どのアンケート結果を見ても、「古典」という言葉を聞くと、「嫌い」「取っ付きにくい」「難しい」等、よくない印象が目立つ。本校の生徒も同様である。

そのような課題を克服するため、昨年度から、①小中高の系統を意識して、②複数の教材を用意し、③古人のものの見方や考え方を味わい自分の実生活に役立てる、ことを重点に指導を図ってきた。竹取物語では、5人の貴公子の教材を用意し、それぞれの求婚の仕方の違いを理解し、おもしろさに触れることができた。しかし、実生活に役立てたり、自分のよりよい生き方につなげたりすることには、課題が見られる。

そのために、本単元では、単元名を「古典から生き方を学ぶ」とし、教材として「枕草子」「平家物語」「徒然草」を扱い、古典で描かれているものの見方や考え方から、自分の生き方を見つめることを設定した。そして、本単元の言語活動(単元のゴール)を「古典新聞を作成し、グループで交流する」と設定し、各教材の学習において、古典新聞作成のためのメモを積み重ねていく。「枕草子」では、古典独特のリズムやひびきを味わい、四季のよさを感じ、日ごろの生活を振り返る。「平家物語」では、登場人物の心情をとらえ、「平家物語」に描かれている人生観に触れる。「徒然草」では、人としての生き方や考え方に関わる文章を読み、よりよい生き方や考え方について自分の考えをもつ。本教材は、古典のものの見方や考え方を感じ、考えることのできる適切な教材であると考え。また「思考ツール」を用いることで、主体的な学びや対話的な学びの場を設定し、一人一人が深い学びになるよう工夫したい。

これらの学習をとおして、「C読むこと」の指導事項「エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」アの「(ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。」及び「(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。」の実現を図る。

小学校で初めて出会った「古典」を、中学校で実生活や生き方に役立てる実感を味わい、古典に対する興味や関心を高め、高等学校でさらに深い学習につなげていきたい。

## 3 単元の見方

- (1) 古典に表れているものの見方や考え方に触れ、人生のよりよい生き方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけて読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけて、自分の考えをもつことができる。(読むこと)
- (3) 様々な種類の作品の特徴を生かして、古典に表れているものの見方や考え方に触れ、楽しむことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準 ※ ( ) はAの状況、他はBの状況を示す

|         | ア 国語への関心・意欲・態度   | エ 読むこと  | オ 言語についての知識・理解・技能                                  |
|---------|--|---|--|
| 単元の評価規準 | ・古典に表れているものの見方や考え方に触れ、人生のよりよい生き方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけて読もうとしている。 | ・古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけて、自分の考えをもつことができる。 | ・様々な種類の作品の特徴を生かして、古典に表れているものの見方や考え方に共感し、楽しむことができる。 |

|                     |   |   |  |
|---------------------|---|---|--|
| <p>学習活動に即した評価規準</p> | <p>①古典独特のリズムやひびきを味わいながら、(すらすらと)音読しようとしている。</p> <p>②古典に表れているものの見方や考え方や登場人物の心情について、(的確に)理解しようとしている。</p> <p>③古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と(積極的に)関連づけようとしている。</p> | <p>①古典に表れている四季の良さ、登場人物の心情や人生観について、(的確に)読み取っている。</p> <p>②古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と(的確に)関連づけ、自分の生き方や考え方に役立てている。</p> | <p>①文語のきまりを(的確に)理解している。</p> <p>②様々な作品のものの見方や考え方について(複数)触れ、共感し楽しんでいる。</p> |
|---------------------|---|---|--|

### 5 指導と評価の計画(全10時間)

| 時 | 主な学習活動  | 学習内容   | 評価規準・評価方法  |
|---|---|--|--|
| 1 | <p>○学習のねらいを知り、見通しをもつ。</p> <p>○単元のゴールを知る。</p> <p>○小学校での学習を振り返る。</p> <p>○既習事項の確認をする。</p> <p>○係り結びを学習する。</p> | <p>○学習のねらいの把握、学習計画・評価の確認</p> <p>○古典新聞の創作</p> <p>○既習事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典独特の読み方の確認</li> </ul> <p>○竹取物語での学習内容の想起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5人の貴公子の内容の想起</li> <li>・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす</li> <li>・月の異名、十二支の確認</li> </ul> <p>○係り結びの学習</p> | <p>ア①</p> <p>オ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導による観察</li> <li>・学習ノートを観察</li> </ul>                            |
| 2 | <p>○「春はあけぼの」を通読し、内容を理解する。</p>   | <p>○作品の特徴と時代背景の確認</p> <p>○歴史的仮名遣いの確認</p> <p>○係り結びの確認</p> <p>○省略(言葉を補う)の確認</p> <p>○季節ごとの「よさや魅力」の理解</p> <p>○「我流 春はあけぼの」の創作のメモづくり<br/>(思考ツール:読解マップ1)</p>  | <p>ア①②</p> <p>エ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導による観察</li> <li>・学習ノートを観察</li> <li>・メモの内容の考察(思考ツール)</li> </ul> |
| 3 | <p>○「我流 春はあけぼの」を創作する。</p> <p>○古典新聞作成のためのメモをつくる。</p>   | <p>○創作の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとのよさや魅力を書くこと</li> <li>・各季節五行以上書くこと</li> </ul> <p>○作者の四季と自分が書いた四季のよさや魅力の違いや</p>  | <p>ア②③</p> <p>エ②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導による観察</li> <li>・学習ノートを観察</li> <li>・メモの内容の考察</li> </ul>        |

|                   |   | おもしろさのメモづくり<br>〈思考ツール：読解マップ2〉   |  |
|-------------------|---|---|--|
| 4<br>5<br>6       | ○平家物語の冒頭、扇の的、敦盛の最期を通読し、内容を理解する。<br><br>○古典新聞作成のためのメモをつくる。     | ○作品の特徴と時代背景の確認<br>○歴史的仮名遣いの確認<br>○七五調の読み方の確認<br>○作品の特徴と時代背景の確認<br>○省略（言葉を補う）の確認<br>○場面の確認と登場人物の心情や行動の理解<br>○登場人物の心情や行動をとおして、自分自身のよりよい生き方や考え方をみつけるためのメモづくり<br>〈思考ツール：読解マップ2〉   | ア①②③<br>エ①②<br>・机間指導による観察<br>・学習ノートの観察<br>・メモの内容の考察            |
| 7<br>⑧<br>本時<br>9 | ○古典新聞に紹介する徒然草の作品を選ぶ。<br><br>○古典新聞のメモを整理する。<br><br>○古典新聞を作成する。 | ○作品の特徴と時代背景の確認<br>○紹介する作品<br>・仁和寺にある法師<br>・ある人、弓射ること<br>・寸陰を惜しむ人<br>・高名の木登り<br>○古典に表れたものの見方や考え方に触れ、新たに分かったこと、考えがどう変化したか、どこに共感したか等、生き方や考え方についての記入<br>〈思考ツール：読解マップ2〉<br>○古典新聞の紙面構成<br>・タイトル<br>・紹介する作品の古文と内容の要約の記入<br>・自分の生き方や考え方をみつけ、ものの見方や考え方を広げ、深めた文章の記入<br>（春はあけぼの、扇の的、敦盛の最期、徒然草）<br>・交流の感想欄<br>・単元の振り返り欄 | ア②③<br>エ①②<br>・机間指導による観察<br>・学習ノートの観察<br>・メモの内容の考察<br>・古典新聞の観察 |
| 10                | ○古典新聞を交流し、多くのものの見方や考え方に触れる。                                   | ○交流の場の設定<br>・3人～4人グループ<br>・作品を選んだ理由と自分の生き方や考え方について  | ア③<br>オ②<br>・机間指導による観察<br>・交流の観察                               |

|  |          |   |          |
|--|----------|---|----------|
|  | ○単元を振り返る | て発表<br>・感想の記入<br><br>○単元の振り返り<br>・古人のものの見方や考え方に触れ、今の生活に生かすこと、生き方や考え方の振り返り | ・古典新聞の考察 |
|--|----------|---|----------|

## 6 本時の学習指導（本時8 / 10時）

### (1) 目標

- 古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけようとしている。（関心・意欲・態度）
- 古典に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連づけ、自分の生き方や考え方に役立てている。（読むこと）

### (2) 展開

| 学習活動  | 学習内容   | 指導と評価の創意工夫                      |
|---|--|---------------------------------|
| 1 前時までの復習を行う。<br><br>2 本時の学習のねらいとゴールを知る。  | ○「春はあけぼの」「扇の的」「敦盛の最後」「徒然草」の内容の想起<br><br>○学習のねらいの把握、ゴールの確認  | ・ねらいやゴールを理解することで学習に対する意欲を高めさせる。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">古典のものの見方や考え方を深めよう。</div> |  |                                 |
| 3 古典新聞創作のためにメモをつくる。<br><br>【個人】<br>↓<br>【グループ】<br>↓<br>【全体】   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             古典新聞創作のためのメモづくり           </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>①思考ツール「読解マップ」の作成【主体的な学び】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典のものの見方や考え方を抜き出し、自分の考えを書く。</li> </ul> </li> <li>②「読解マップ」の交流（小グループ）【対話的な学び】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「春はあけぼの」「扇の的」「敦盛の最後」「徒然草」の発表を聞き、考えを深め広げる。</li> <li>・他者の発表は色ペンを使い、読解マップに書きこんでいく。</li> </ul> </li> <li>③「読解マップ」の交流（クラス全体）【深い学び】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループでの発表を全体で共有する。</li> <li>・他者の考えとの違いやおもしろさに気付かせる。</li> </ul> </li> <li>④古典新聞の創作のための読解マップの考察</li> </ul> |                                 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価場面</div>               |  |                                 |
| 〈学習活動に即した評価規準〉<br>ア③エ②<br>〈評価方法〉<br>・読解マップの考察<br>・交流の観察   |  |                                 |

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| 4 メモづくりを振り返る。 | <p>〈規準に達していない生徒に対する手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共感や親しみと思う表現を見つけ抜き出し、理由を考える。</li> <li>・実生活と同じ場面や状況がないか振り返らせる。</li> </ul> |  |
|               | ○古典のものの見方や考え方が、実生活につながっていることの確認   |  |